

手術室における麻薬紛失の疑いについて

令和3年11月9日
大阪市立大学医学部附属病院
病院長 平田一人

令和3年10月18日(月)手術室において使用された麻酔用鎮痛剤「フェンタニル0.1mg」8アンプルが紛失したことが判明しました。発覚後、直ちに関係する職員の聴取、院内捜索を行いました。発見には至っておりません。

紛失判明後は原因究明及び、再発予防策の検討を行うとともに、10月21日(木)に大阪府薬務課に届出を行い、11月2日(火)同課による立入り調査が行われました。その際に指摘を受けた問題点や指導内容を踏まえ、速やかに管理体制の改善や再発防止を行います。今回の紛失に関しては、院内捜索、立入り調査をふまえ、誤廃棄した可能性が高いと考えますが、11月5日(金)に阿倍野警察署へ報告を行いました。

このような事態が発生しましたことをお詫びするとともに、再発防止に向けた管理体制の構築と職員への指導を行って参ります。

【本件に対する問い合わせ先】

大阪市立大学医学部附属病院 庶務課
TEL: 06-6645-2711
(午前9時～午後5時、土・日、祝日を除く)